

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第6部門第2区分
 【発行日】平成19年2月8日(2007.2.8)

【公開番号】特開2000-235366(P2000-235366A)
 【公開日】平成12年8月29日(2000.8.29)
 【出願番号】特願平11-361940
 【国際特許分類】

G 0 9 G 3/20 (2006.01)

G 0 9 G 3/36 (2006.01)

【F I】

G 0 9 G 3/20 6 8 0 A

G 0 9 G 3/36

【手続補正書】

【提出日】平成18年12月18日(2006.12.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

2つの表示装置と、

外部映像信号供給装置より入力される第1の映像信号と、

外部の像を第2の映像信号に変換する2つの撮像素子と、

使用者の生体情報を生体情報信号に変換するセンサと、

前記2つの表示装置へ映像信号を供給する映像信号制御回路と、を有し、

前記映像信号制御回路は、前記生体情報信号を数値処理した指数に基づき、前記2つの表示装置に前記第1の映像信号または前記第2の映像信号を供給することを特徴とするゴーグル型表示システム。

【請求項2】

前記生体情報信号を数値処理した指数に基づいて前記第1の映像信号と前記第2の映像信号の供給を切り替えることによって、前記第1の映像信号によって表示される第1の映像と前記第2の映像信号によって表示される第2の映像とが切り替わることを特徴とする請求項1に記載のゴーグル型表示システム。

【請求項3】

2つの表示装置と、

外部映像信号供給装置より入力される第1の映像信号と、

外部の像を第2の映像信号に変換する2つの第1の撮像素子と、

使用者の眼の像を第3の映像信号に変換する2つの第2の撮像素子と、

使用者の生体情報を生体情報信号に変換するセンサと、

前記2つの表示装置へ映像信号を供給する映像信号制御回路と、を有し、

前記映像制御回路は、前記第3の映像信号および前記生体情報信号を数値処理した指数に基づき、前記2つの表示装置に前記第1の映像信号または前記第2の映像信号を供給することを特徴とするゴーグル型表示システム。

【請求項4】

前記第3の映像信号および前記生体情報信号を数値処理した指数に基づいて前記第1の映像信号と前記第2の映像信号の供給を切り替えることによって、前記第1の映像信号によって表示される第1の映像と前記第2の映像信号によって表示される第2の映像とが切

り替わることを特徴とする請求項 3 に記載のゴーグル型表示システム。

【請求項 5】

2つの表示装置と、
外部映像信号供給装置より入力される第1の映像信号と、
外部の像を第2の映像信号に変換する2つの撮像素子と、
使用者の生体情報を生体情報信号に変換するセンサと、
前記2つの表示装置へ映像信号を供給する映像信号制御回路と、を有し、
前記映像信号制御回路は、前記生体情報信号を数値処理して得たカオスアトラクター指数に基づき前記使用者の疲労の程度を算出し、
前記疲労の程度があらかじめ設定されたレベル以下の場合には、前記映像信号制御回路は前記2つの表示装置に前記第1の映像信号を供給し、
前記疲労の程度が前記あらかじめ設定されたレベルを超える場合には、前記映像信号制御回路は前記2つの表示装置に前記第2の映像信号を供給することを特徴とするゴーグル型表示システム。

【請求項 6】

2つの表示装置と、
外部映像信号供給装置より入力される第1の映像信号と、
外部の像を第2の映像信号に変換する2つの第1の撮像素子と、
使用者の眼の像を第3の映像信号に変換する2つの第2の撮像素子と、
使用者の生体情報を生体情報信号に変換するセンサと、
前記2つの表示装置へ映像信号を供給する映像信号制御回路と、を有し、
前記映像信号制御回路は、前記第3の映像信号および前記生体情報信号を数値処理して得たカオスアトラクター指数に基づき前記使用者の疲労の程度を算出し、
前記疲労の程度があらかじめ設定されたレベル以下の場合には、前記映像信号制御回路は前記2つの表示装置に前記第1の映像信号を供給し、
前記疲労の程度が前記あらかじめ設定されたレベルを超える場合には、前記映像信号制御回路は前記2つの表示装置に前記第2の映像信号を供給することを特徴とするゴーグル型表示システム。

【請求項 7】

前記撮像素子は、CCD撮像素子またはイメージセンサであることを特徴とする請求項 1 または 5 に記載のゴーグル型表示システム。

【請求項 8】

前記第1の撮像素子は、CCD撮像素子またはイメージセンサであることを特徴とする請求項 3 または 6 に記載のゴーグル型表示システム。

【請求項 9】

前記第2の撮像素子は、CCD撮像素子またはイメージセンサであることを特徴とする請求項 3、6 または 8 に記載のゴーグル型表示システム。

【請求項 10】

前記イメージセンサは、前記表示装置と一体形成されていることを特徴とする請求項 7 乃至 9 のいずれかーに記載のゴーグル型表示システム。

【請求項 11】

前記使用者の生体情報は、脈波、血圧、体温または瞳孔の開き度合であることを特徴とする請求項 1 乃至 10 のいずれかーに記載のゴーグル型表示システム。

【請求項 12】

前記センサは、脈波センサ、血圧センサまたは体温センサであることを特徴とする請求項 1 乃至 10 のいずれかーに記載のゴーグル型表示システム。

【請求項 13】

前記脈波センサ、血圧センサまたは体温センサは、ヘッドホンに設置されることを特徴とする請求項 1 2 に記載のゴーグル型表示システム。

【請求項 14】

前記表示装置は、反射型液晶表示装置であることを特徴とする請求項 1 乃至 1 3 のいずれかーに記載のゴーグル型表示システム。

【請求項 1 5】

前記表示装置のバックライトには、赤色 L E D、緑色 L E D、および青色 L E D が用いられることを特徴とする請求項 1 乃至 1 4 のいずれかーに記載のゴーグル型表示システム。

【請求項 1 6】

前記表示装置は、フィールドシーケンシャル方式で駆動されることを特徴とする請求項 1 5 に記載のゴーグル型表示システム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 8】

なお、図 1 4 に示す様に、使用者の様々な部位 (a ~ e 等) から、使用者の生体情報を得ることができる。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 5 8】

ここで、心身状態と脈波のカオスアトラクターの関係は次のようである。

(1) 脈波のカオスアトラクターは精神心理状態を敏感に反映し、特有のトポロジーを示す。

(2) 脈波から得られるカオスアトラクターは人に共通の基本構造の上に、個人特有の構造を持ち、更に精神心理状態や病気によって変化する。

(3) 一般に精神心理状態や、生理状態が不安定になったり、病気になると、アトラクターの全体構造が単純化、無構造化し、小さくなる。また、リズムには機械的で単調な周期構造が現れる。すなわち、よりカオス的ではなくなる。

(4) 健康状態では、全体構造は複雑でダイナミック、局所構造も巻き込み、ねじれ、スクリュウ構造などの複雑な構造を示す。そして、リズムは脱周期的になる。即ち、健康な生体はカオスであり、カオスで満ちている。

(5) 意識を集中するとカオスアトラクターは複雑になり、巻き込み、ねじれなどの局所構造が現れ、或る域値以上のストレスがかかり、疲労すると構造は単純になり、局所構造が消失する。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 8 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 8 2】

(実施形態 7)

ここで、上記実施形態 1 ~ 6 で用いた L C D パネルの作製方法例を以下に説明する。本実施形態では、絶縁表面を有する基板上に複数の T F T (薄膜トランジスタ) を形成し、表示部となるアクティブマトリクス回路、ソース信号線駆動回路、ゲート信号線駆動回路、デジタルデータ分割回路、および他の周辺回路等を同一基板上に形成する例を図 1 6 および図 1 7 に示す。なお、以下の例では、アクティブマトリクス回路の 1 つの画素 T F T と、他の回路 (ソース信号線駆動回路、ゲート信号線駆動回路、および他の周辺回路) の

基本回路であるCMOS回路とが同時に形成される様子を示す。また、以下の例では、CMOS回路においてはPチャンネル型TFTとNチャンネル型TFTとがそれぞれ1つのゲイト電極を備えている場合について、その作製工程を説明するが、ダブルゲイト型やトリプルゲイト型のような複数のゲイト電極を備えたTFTによるCMOS回路をも同様に作製することができる。また、以下の例では、画素TFTはダブルゲイトのNチャンネル型TFTであるが、シングルゲイト、トリプルゲイト等のTFTとしてもよい。

【手続補正5】

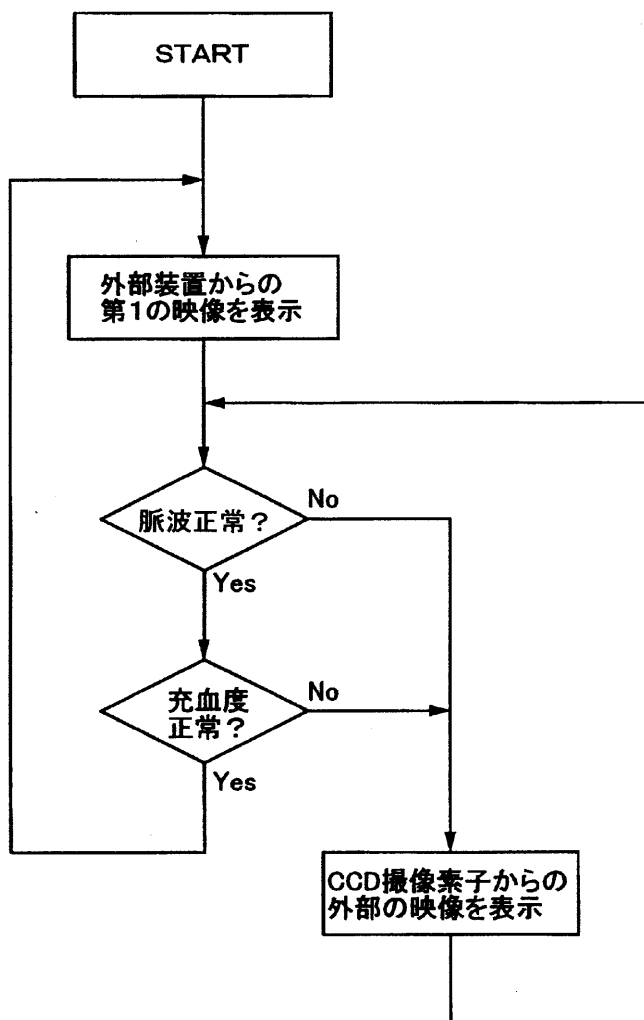
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図5】



【手続補正6】

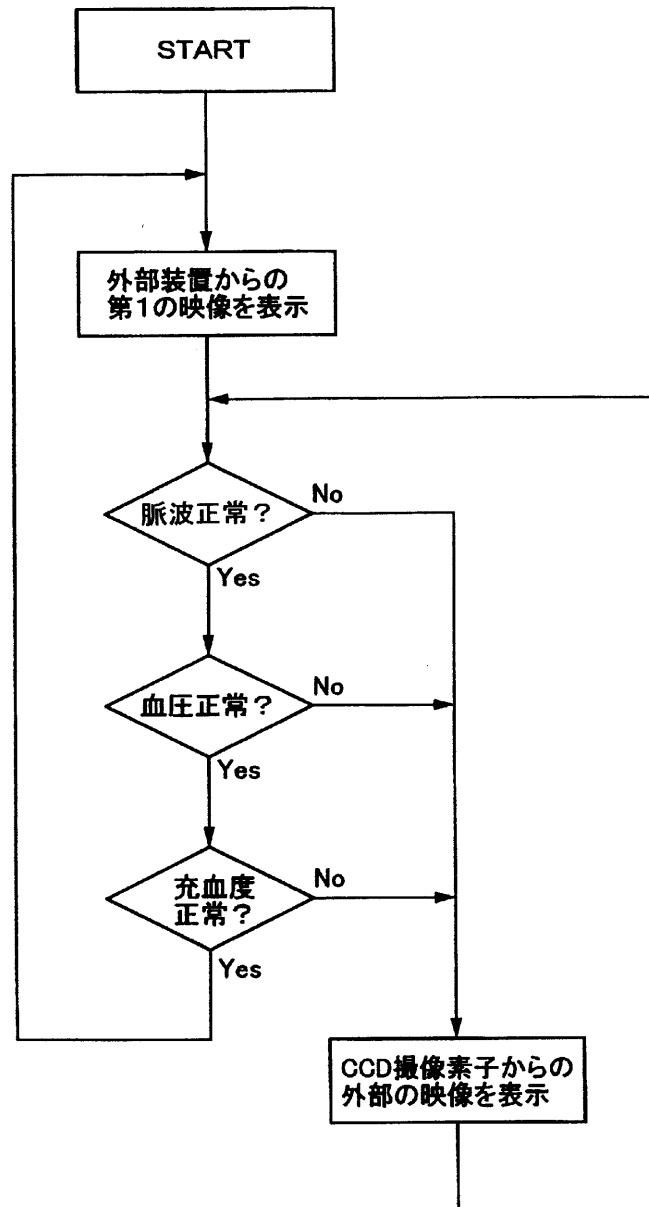
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 図 6 】



【 手続補正 7 】

【 補正対象書類名 】 図面

【 補正対象項目名 】 図 1 2

【 補正方法 】 変更

【 補正の内容 】

【 図 1 2 】

